

国連憲章に違反するロシア軍はウクライナより撤退を 禁止条約を力に、日本政府に禁止条約の署名・批准を

2022年原水爆禁止国民平和大行進



激励メッセージ 岩田勉すさみ町長

岩岡本克敏議長と宮崎久留美さん

5月27日（金）すさみ町集会



加藤元昭さん、加藤恵子さん

5月27日（金）晴れ。すさみ役場前での集会です。集会前、役場の近くの国道沿いでスタンディングです。その後、すさみ町総務課と議会事務局を訪問します。町長、議長のペナントと協賛金を受け取ります。「被爆者募金箱」も交換します。募金箱は、町民の目につく1階ロビーにあり、ポスターも貼られています。岩田町長には、NPT役職署名にサイン頂きました。

集会は、宮崎久留美さんが進行します。最初、地元すさみ原水協加藤元昭事務局長が、核兵器禁止条約の発効したこと、平和行進が一人の一步から始まったこと、原水爆禁止世界大会のこと、すさみ町での核廃絶の取り組みを報告します。

岩田勉すさみ町長から「原水爆により多くの尊い命が犠牲となりました。半世紀以上の年月が経過した今日においても、多くの被爆者が重い後遺症に苦しんでいます。私達はその現実を受け止め、核兵器による悲惨な体験を風化させることなく、核廃絶につなげることが重要な役割だと考えます」と激励挨拶をいただきました。町職員も集会に参加しています。続いて、岡本克敏議会議長も挨拶します。

最後に加藤恵子さんが「すさみ町でも戦争で432人が亡くなっています。…私たちはウクライナの事を他国の事だから知らぬ顔、そういう事はできないと思います」と訴えました。「原爆許すまじ」が流れ、集会が終わります。

集会の参加50人です。

県事務局



国道沿いでのスタンディング